

○ 本校がスーパーサイエンスハイスクール（SSH）に指定されました。

HP等で既に報告されていますが、本年度より5年間SSHに指定されました。これにより今まで以上にGS科をはじめとする探究的な教育活動が発展させられるだけでなく、GS科の事業をオープン講座としてより多くのプログラムを公開することができるようになります。中核となる「DAYS-program」というプログラムはGS科以外の生徒についても対象となっています。しばらくは希望者中心となりますが是非ともたくさんの生徒の参加を期待しています。また本通信を通じて各講座の案内や取り組みの様子をお知らせしていきます。



○ 本年度のGS科のオープン講座(予定)

SSH事業などを利用したオープン講座はGS科以外の生徒も希望すれば参加できます。今年度前半期のオープン講座は現在ところ次の通りです。

- 5/20 探究基礎実習Ⅰ\*
- 7/10 探究基礎実習Ⅱ\* (講師：京都教育大 村上先生)
- 7/12 生命科学特別講義\*&キャリア講演 (講師：兵庫県立大 廣瀬先生)
- 8/3~7 Day camp (研究体験実習) ※選択テーマによって実施日が異なる (宿泊ではありません)
- 8/8,9 サイエンスキャンプ (西はりま天文台やSPring-8等での合宿研修)
- 9/14 フィールド実習\* (講師：人と自然の博物館 池田先生)
- 9/(未定) 探究基礎実習Ⅲ\* (\*はGSIの授業と一緒にいきます。)

またこれ以外に放課後、飲み物などを持ち寄りながら近い距離で対話的な講義を行う「Agorá」を実施する予定です。(こちらは理系的な内容に限りません。)

初回は5月24日に英語科の久保田先生による「舞台を『世界』に広げる話」をGS科準備室「アゴラ」で開催します。生徒の皆さんの参加をお待ちしています。



○ GS科準備室内のフリースペース「アゴラ」について

図書室横にあるGS科準備室、GS科以外の生徒にとってはちょっと入りにくいイメージがあるかと思いますが、この春、大幅に改装し、ちょっとした実験や談話しながら自習したりプレゼンの練習ができるスペース「アゴラ」を設置しました。室内ではホワイトボードやプロジェクタ、ディスプレイ、パソコンの使用もできます。これまではGS科の生徒だけが許可制で利用できましたが、今年度から普通科・演劇科の生徒も含めて、開いている時は利用できるようになりました。どんどん利用してください。(考査前も教員が在室している時は利用可能です。)



○ 科学コンテスト (国際大会予選) への誘い

昨年度末に科学の甲子園全国大会で初出場ながら10位入賞を果たしたGS科の現3年生ですが、この大会は優勝するとサイエンス・オリンピック(米国開催)に招待されます。この他高校生を対象とした科学コンテストは多数開催されています。今年度から微力ながらもこれらの国内選考会へ出場する生徒へのサポートを行うことになりました。興味がある人はGS科の先生に聞いたり掲示物などをチェックしてみてください。

## 生徒の活動の様子

今回はGS科1年生の課題である「自然科学の文章に触れる」から抜粋して1つ紹介します。

### 「睡眠の科学・改訂新版 なぜ眠るのか なぜ目覚めるのか」櫻井 武 (著) (ブルーバックス)

・この本を選んだ理由

「睡眠は何故必要なのか。」と、私はこれまで何度も考えたことがあります。もし眠る必要がなくなれば、睡眠に費やしている1日の約3分の1の時間を趣味や勉強に使えます。さらに言えば、限られた人生を満喫するうえで、睡眠は時間の浪費ではないでしょうか。大切な時間を削って睡眠をとる必要性、そして眠気が訪れ眠ってしまう理由は何かを知りたいと思い、この本を読むことに決めました。

・感想&アピールPOINT

睡眠は誰にとっても身近な存在です。しかし、睡眠のメカニズムについて詳しく知っている人はほんの一部だと思います。また、現代人は仕事や勉強に追われ、睡眠にかける時間をほかの用事をするために使ってしまうがちです。睡眠についての正しい知識を得ることは適切な睡眠をとることへと繋がり、自らの健康維持に役立つはずですが。私自身は、この本を読んでから睡眠時間を睡眠のサイクルに合わせてとることを意識するようになりました。睡眠時間を十分に、と言われる科学的な根拠を学び、毎日の睡眠をより豊かにしてみましょ！

(1年7組 藤本 真凜)

★ この本は本校の図書館にもあります。

・SSH事業って？→<http://www.jst.go.jp/cpse/ssh/>

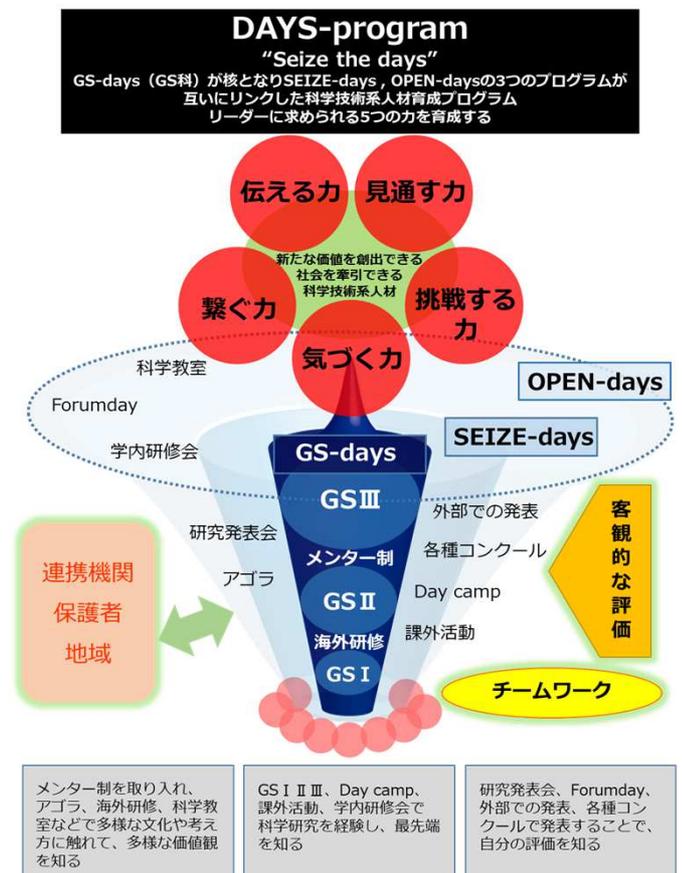
SSH事業とは文部科学省が将来にわたり日本が科学技術分野で世界をけん引するための科学技術系人材育成のために、先進的な理数教育を実施している学校を指定し、その活動の推進をするとともに将来的には高校の理数教育の開発に役立てるといふものです。本校はこれまでのGS科の取り組みだけでなく化学部や物理部など普通科生徒が中心となっている取り組みも含めて評価され採択されました。

・「DAYS-program」とは？

本校のSSHのプログラムの核となるのが「志を持った若手研究者の育成 (Developing Ambitious Young Scientists)のためのプログラム」【DAYS-program】です。

このプログラムはGS科の新規学校設定科目「GS I・II・III」(予定)を含め、シアトル研修などGS科の行事と連動させた「GS-days」、これに普通科理系・自然科学系部活動の生徒たちを巻き込んだ「SEIZE-days」(Science & Engineering for Idealization & Zealous Engagement)、さらに一般生徒・保護者・地域住民や近隣の教育関係者まで幅広く広げた「OPEN-days」(Opportunities of Parents, Educators & Neighbors)という3段構えのプログラムです。

オープン講座やアゴラを通じてできるだけ多くの生徒に参加してもらえるように企画しています。また今後は保護者や地域の皆様も参加できるような講演会などを企画していく予定です。よろしくお願いします。



▲ 本校のSSH事業の概念図